

ケニア共和国  
リマラペラ診療所への電力供給による  
医療環境改善支援事業

中間報告書

2023年5月11日

---

特定非営利活動法人

ワールド・ビジョン・ジャパン

URL: <http://www.worldvision.jp>

## I. 支援事業概要

支援事業名	リマラペラ診療所への電力供給による医療環境改善支援事業
支援事業地	ケニア共和国 キリフィ県 ガンゼ準県 バンバ地域 リマラペラ地区 英語表記: RIMARAPERA SUB LOCATION, BAMBA WARD, GANZE SUBCOUNTY, KILIFI COUNTY, REPUBLIC OF KENYA
事業実施期間	2022年2月1日～2022年5月31日(4か月間)
事業目標	リマラペラ地区の医療状況改善を図る
アウトカム／アウトプット	1. リマラペラ診療所の医療サービスへのアクセスが向上する 1.1 リマラペラ診療所において夜間診療を含む適切な医療サービスを提供するための電力が供給される
活動内容	1.1.1 パワーサプライステーション(PSS)設置のための建屋建設 1.1.2 PSSの設置 1.1.3 配線と電灯の設置
受益者数	直接受益者 診療所利用者 3,929人(女性 2,026人、男性 1,903人) 間接受益者 バンバ地域の住民 61,394人(男性 28,431人、女性 32,963人) 内子ども 34,849人(男子 17,538人、女子 17,311人)
報告期間	2022年8月～2023年3月(8か月間)

## II. 事業地の地理的・社会的背景

ケニア共和国(以下、ケニア)は、東アフリカに位置し、日本の約1.5倍の国土に人口約5,370万人(2020年、世銀)、42部族が暮らしています。東アフリカで最大の経済大国で、2020年までは年間約5%前後の経済成長率を保ち、2020年の国内総生産(GDP)は1,000億米ドルを超えています(2020年、世銀)。その一方、貧富の差が拡大しており、人口の0.1%が残り99.9%の人々の財産総額を超える財産を保有しているとも言われています。

本事業が行われているキリフィ県は、インド洋に面し、首都ナイロビから約520km、第二の都市モンバサから北東に56km離れたところに位置しています。キリフィ県は7つの準県に分かれ、本事業はガンゼ準県にある4つの地域のうち、バンバ地域で実施します。本地域は乾燥地・半乾燥地に分類されます。住民は主に農業(主食のトウモロコシの一種であるメイズ、ココナッツ、カシューナッツやキャッサバなど)や畜産によって生計を立てていますが、周期的に干ばつに見舞われる地域であるため、農作物の不作や水不足が深刻な問題となっています。また、バンバ地域は中心部からのアクセスも悪く、行政サービスや開発の手が行き届いていない取り残された地域でもあります。貧困率も高く、地域コミュニティの平均収入は1日1ドル以下と推定されています。

## III. 支援事業の背景

キリフィ県はケニアの中でも妊産婦死亡率が高い地域の一つです。診療所は、分娩のための十分な設備がなく、医薬品や物品の供給も不安定で、適切な分娩ケアを行える環境ではありませんでした。これを受け、2020年4月から塩野義製薬株式会社様のご支援により、キリフィ県ガンゼ準郡の3つの保健施設を対象とした事業を開始しました。この内本事業地のリマラペラ診療所では新たに産科室を建設し、必要な機材・備品の整備を行っています。また、産科室を拡張して母子保健棟を建設しました。

こうした支援により衛生的で安全な設備が整いつつある一方で、リマラペラ診療所は電力の課題も抱えています。近隣に接続できるグリッドがないため電力へのアクセスがなく、提供できる医療サービスが制限されています。例えば夜間診療を行うことができない他、適切にワクチンを保管することができません。また、呼吸器等の基本的な医療機器も活用することができていません。施設の整備と同時に、本事業により PSS を設置して電力を届けることで、リマラペラ診療所の医療環境改善への相乗効果を生むことを目指しました。

#### IV. 支援事業内容

本事業を通じて、同診療所にパワーサプライステーション 1 台を設置し、既存の診療所、新たに建設された母子保健棟、スタッフハウス、屋外の電灯への配線を行いました。本事業による工事の様子と設置されたソーラーパネルおよび PSS の様子は以下の写真の通りです。



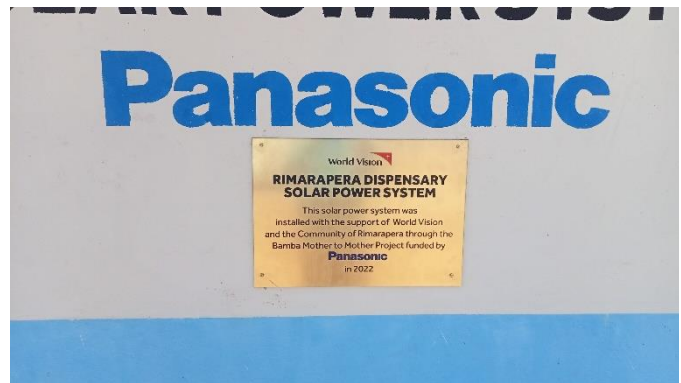
産科室の屋根にソーラーパネルを設置し、手前に PSS のための建屋を建設している様子



ソーラーパネルを設置し、建屋が完成した様子



PSS の建屋



建屋に設置した銘板



バッテリーとパネルが設置された  
PSS 建屋の内部の様子



PSS のシステムについて説明をする現地スタッフ  
(2022 年 10 月)



電気を使って使用する冷蔵庫



塩野義製薬様事業で購入した  
酸素吸入器、吸引器

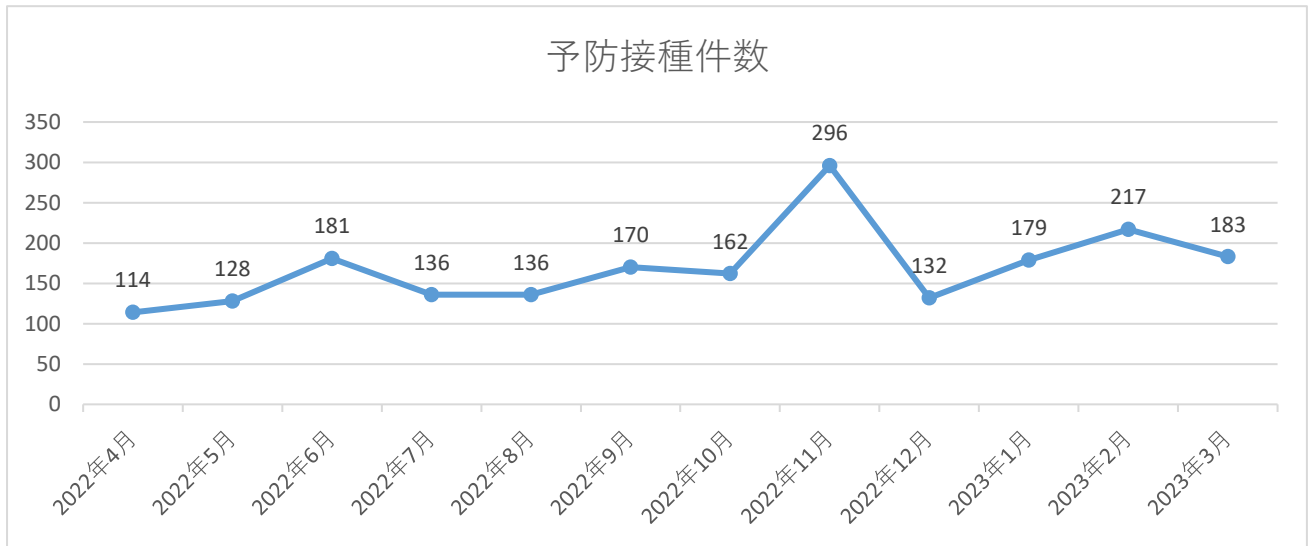
## V. 事業による成果

本事業は 2022 年 5 月に完成し、その後現地で利用が開始されました。これまで電気がなかった診療所で安定的に電気を利用できるようになりました。これにより夕方・夜間の診療が可能となり、電気を用いる医療機器を用いた治療が可能となりました。例えばこれまでガス冷蔵庫で冷蔵保存していたワクチンは、現在は電気を使って保存されています。また電力を使う顕微鏡、酸素吸入器、吸引機等など、塩野義 Mother-to-Mother バンバプロジェクトを通じて診療所に供与された医療機器も、この PSS による電力があることで使用が可能となります。

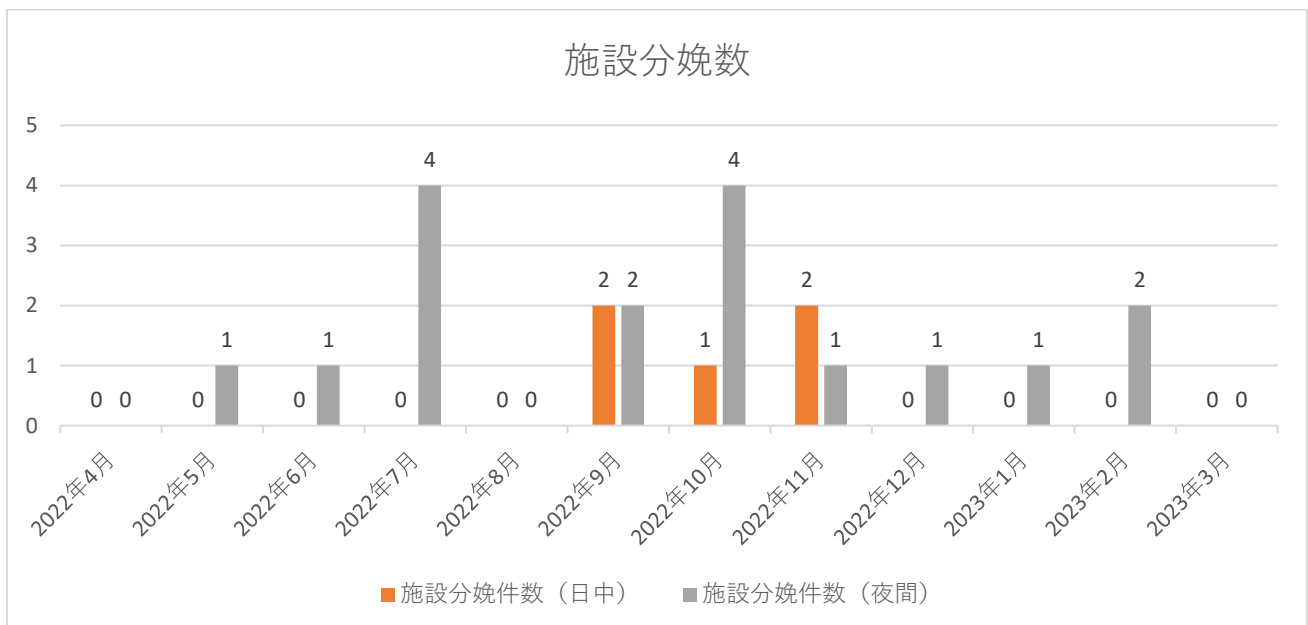
2022 年 4 月以降の、リマラペラ診療所における予防接種の実施件数と施設分娩数(日中と夜間)の推移は以下の通りです。2022 年 5 月以降、PSS が正式に稼働を始め診療所内で電力を使用することが可能となりました。



予防接種の件数者は 2022 年 11 月に一時的に増加していますが、この時期にケニア政府主導の母子保健に関するキャンペーンが行われました。キャンペーンの中では予防接種の重要性が訴えられ、その結果として多くの母親たちが予防接種を受けました。その反動として翌月 12 月は減少しています。全体の傾向として接種数は増加していると言えます。



施設分娩数も月ごとの増減はありますが、2022 年 5 月以降合計 22 件の出産がリマラペラ診療所でおこなわれました。そのうち夜間の出産 17 件は診療所の照明設備が使用されて安全に出産を行うことができました。また日中に行われた出産の場合にも、滅菌処理した医療機器が使用されたり、出産後の母親からだをやすめたりする際には病院内の電灯などが利用されたと考えられます。



## VI. 現地からの声

### (1) リマラペラ診療所のカズング看護師

ソーラーパネルを設置して電気を使えるようになったことで、出産に関する医療サービスの質は改善しました。例えば、産科室を利用したり診察を行う際の電灯や乳児の保育器を利用することができるようになりました。診療所全体の電灯が使用できるようになったことで安全面も改善しましたし、夜間の緊急対応も可能となりました。診療所の敷地に建設されているスタッフ用宿舎にも電気が届けられており、快適な生活ができるようになっています。

また電力が提供されていることで、ケニア保健省の予防接種拡大プログラムによって提供された冷蔵庫を産科室に設置し、その中でワクチンを保管しています。乳幼児から子どもまで様々な年齢で摂取するべきワクチンをすべて保存できるほか、新型コロナウイルスワクチン、子宮頸がんワクチンも保存してあります。

塩野義 M2M バンバ事業を通じて建設された検査室では、尿やマラリアの検査機器、HVI の検査、顕微鏡を使った検査なども行うことができるようになりました。リマラペラ診療所の看護師であるカズングさんは、「ご支援をくださったパナソニック株式会社に対して言葉に尽くせない感謝を感じています。またこの病院を訪れてください」と話しています。



看護師のカズング・カタナ氏



診療所で使用されている保育器(左)と冷蔵庫(右)



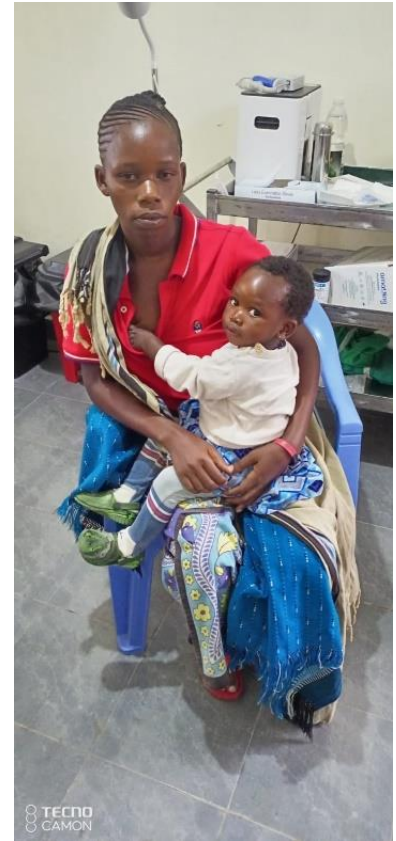
母親と子どもの診察を行うカズング氏

## (2) マリアさんとジョンくん

マリアさん(23歳)と息子のジョンくん(生後14か月)はリマラペラ地区に住んでいます。ジョンくんが産まれたときには、リマラペラ診療所の産科室はまだ建設されていませんでしたが、診療所に電気が通うようになったことでワクチンを常時冷蔵保存できることになり、ジョンくんは現在の月齢までに必要なワクチン接種をすべて受けることができました。また彼女は、ある晩、ジョンくんの体調が急に悪くなり診療所を慌てて訪問した時のことを話してくれました。夜間にジョンくんを連れてこちらを訪問しましたが、電気が通っていたことで看護師が医療サービスを提供することができたと言います。また、妊産婦にとって産前検診や他の検査をこちらの診療所で行うことができるようになったことも大きなメリットだそうです(※)。

マリアさんはソーラーパネルによってこの村に住む人々が夜間でも医療サービスを受けられるようになったことに感謝しており、他の母親や妊娠中の女性たちもリマラペラ診療所を最大限活用することを期待しています。

(※)以前は電気を使用する検査機器や検査室(塩野義製薬様ご支援で建設)がなかったため、検査のために遠方の診療所や病院を訪問せざるを得ませんでした。



マリアさんとジョンくん

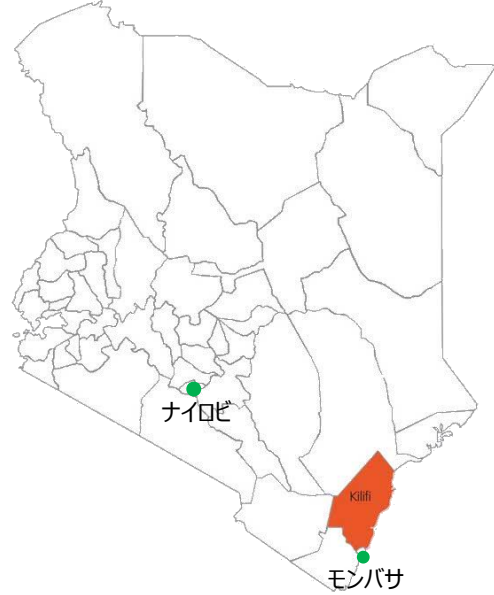
【添付資料】

1. 事業地地図

ケニア共和国



キリフィ県



ガンゼ準県 バンバ地域





## 2. 事業開始前のリマラペラ診療所様子



リマラペラ診療所の入り口



リマラペラ診療所



電灯もありませんでした(当時)



改築中の屋根(当時)

以上